

首里城がつなく 「過去」から「未来」へ...

首里城復興レポート Vol.8 (R3年度まとめ版)

目 次

●首里城復元に向けた取組状況	2
●県の首里城復興に向けた取組状況	12
●首里城復興に係る寄附金の状況	27
●これまでの県・国の動向	36



公式復興サイト



公式Twitter

首里城復元に向けた取組状況

首里城正殿等の復元に向けたスケジュール（国）

（2020年3月27日）
首里城復元のための関係閣僚会議

（年度）

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 （大径材）		市場調査							
	設計		基本設計	実施設計						
	材料調達 （大径材）			調達・乾燥						
	工事	仮設道路 がれき撤去		木材倉庫	発注手続（WTO）	本体工事				
北殿、南殿等			撤去 正殿復元の施工ヤードとして使用							
			検討						工事	

首里城ドローン写真（令和元年11月1日時点）

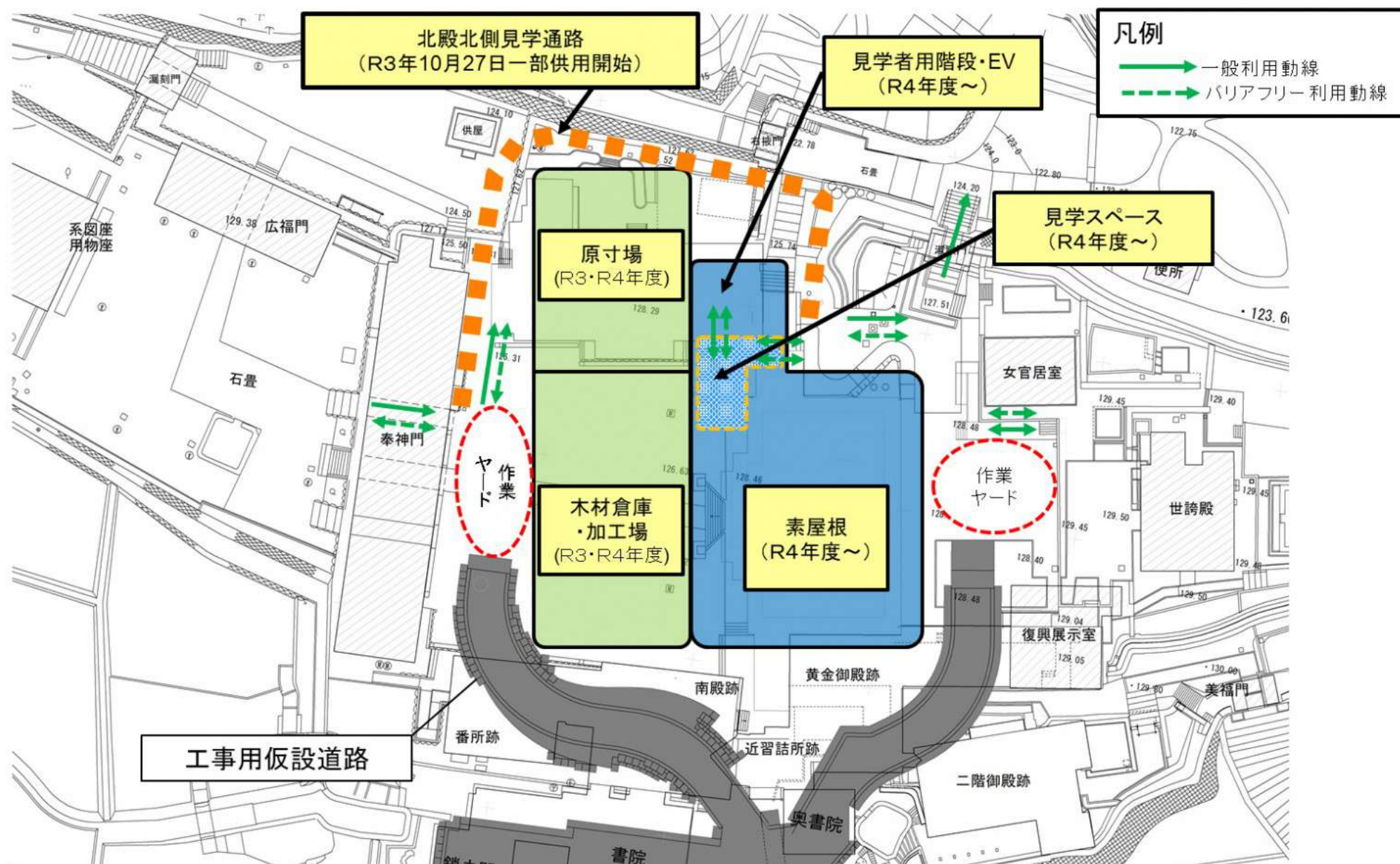


令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。

首里城ドローン写真（令和4年6月30日時点）



R3年度以降の木材倉庫等仮施設の整備について



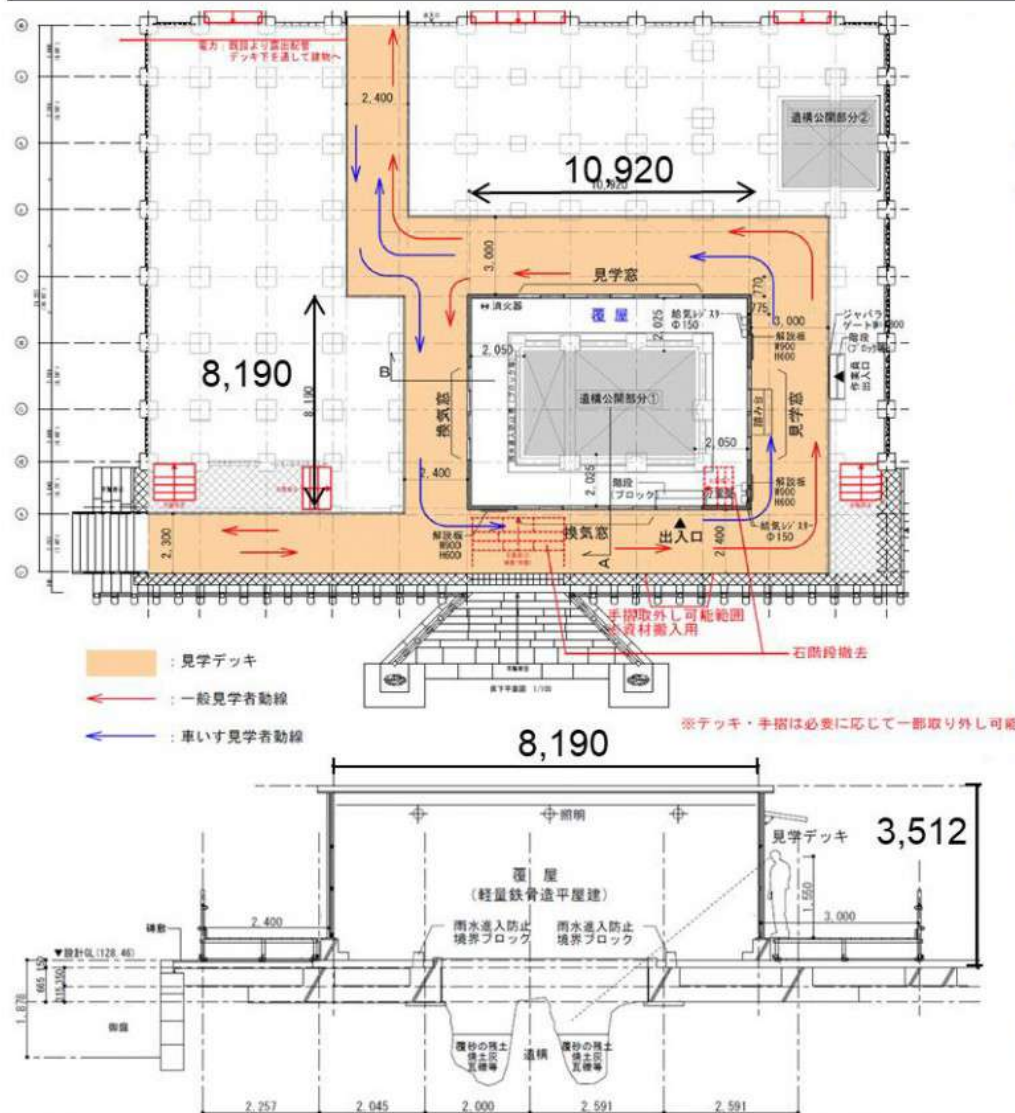
正殿復元に向けた仮施設の整備について(CGイメージ)



※詳細は現在調整中

正殿遺構の保護 ※令和4年5月23日より非公開

火災の影響を受けた正殿遺構について、文化庁等の技術的支援のもと、瓦礫の撤去や覆砂保護処置、仮設覆屋の設置、薬剤による強化処置を実施し、R2年6月に一般公開を実施。現在は、正殿本体工事の準備のため非公開。



※正殿遺構…長さ:約6.5m、幅:約3.9m、深さ:約2.5m

北殿北側見学通路の整備（R3年10月27日供用開始）

今年度から始まる木材倉庫等の仮施設の整備に先立ち、復元工事の現場を迂回しながら見学できる北殿北側見学通路(仮設デッキ)が令和3年10月27日に供用開始した。本デッキ上では、正殿復元の様子をあしらったグラフィックや今後の正殿復元の工程等の解説、首里の街並みに関する歴史解説、火災の様子を伝える展示等を設置している。



正殿復元の様子をあしらったグラフィック



今後の正殿復元の工程等の解説

正殿の復元工事が始まります

Reconstruction work on the Seiden is to start

开始复原正殿工程 正殿的復原工程開工 세이덴의 복원 공사가 시작됩니다

2026年の正殿の完成を目指して、2021年から復元工事に必要な木材を、密着・密貯工程を繰り返して、2022年からは集積場を整備し、いよいよ正殿の復元工事が始まります。正殿復元に合わせて変わりゆく収容の様子を随時ご紹介します。

Work has been underway since 2021 on building a timber warehouse, and template and processing workshops, which are needed for the reconstruction work. In 2022, a temporary roof will be put in place to cover the Seiden, and reconstruction work will finally begin, with the goal of completion in 2026. Please come and take a look at how the Seiden's reconstruction is coming along.

为保证2026年正殿原形復元工程、从2021年开始建设施工所需用的木材仓库、模板场地及加工场地。2022年起开始临时顶棚、开始了开地填平正殿的施工。今后还将随着正殿复建过程中发生的状况化。

為了於2026年正殿原形復元工程，自2021年起建設施工所需用的木材倉庫、密貯·加工場。自2022年起建設臨時頂棚、開始了開地填平正殿工程。隨着正殿復建過程中不斷發生的狀況化。



写真: 正殿の復元工場の様子 (2022年10月撮影) Photo: Seiden's reconstruction work site (October 2022) 사진: 세이덴의 복원 공사현황 (2022년 10월 촬영)



写真: 正殿の復元工場の様子 (2022年10月撮影) Photo: Seiden's reconstruction work site (October 2022) 사진: 세이덴의 복원 공사현황 (2022년 10월 촬영)



写真: 正殿の復元工場の様子 (2022年10月撮影) Photo: Seiden's reconstruction work site (October 2022) 사진: 세이덴의 복원 공사현황 (2022년 10월 촬영)

木材を保管する／木材倉庫 Timber warehouse: A place for storing wood

保管木材の場所 ―木材倉庫 保管木材の場所 ―木材倉庫 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司 (たけお たかし)

2022年夏頃に整備予定です。 Scheduled to be ready in summer 2022.

高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



正倉の扉では、大小様々な木材を数多く使用します。イスマキ、オキナワウシロガシ、ヒノキをはじめとした多様な樹種の木材を、適切に乾燥管理しながら、工事で使われるまで保管する場所が「木材倉庫」です。

The reconstruction of the Siden involves the use of many different types of wood, both large and small. The timber warehouse is where wood from various tree species, including *Podocarpus nagi*, *Quercus myrsinoides*, and *Chamaecyparis obtusa*, is stored under proper dry conditions until needed for construction work.

正倉建屋工作将使用大量木材。其大小各异，种类繁多。而「木材倉庫」正是对罗汉松、洋樟白栎等，日本扁柏等多种种木材进行妥善干燥管理并保管至工程前期的场所。

正倉建屋工程中有使用各种各式大小的木材「杉木通柱・洋樟白栎柱・楠木」等众多种木材进行妥善干燥管理并保管至工程使用之前。干燥的场所即为「木材倉庫」。



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)



高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり) / 高尾 隆司(たけお たかし) / 高橋 博典(たかはし ひろのり)

首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア

○火災により被災した赤瓦のうち、破損せずに残った瓦（完品瓦）について、破損瓦の利活用の一環として、ボランティアによる漆喰はがしを実施。（のべ参加者：約4.3千人、処理した瓦：約2.4万枚）

○品質上問題のない完品瓦は、今後北殿・南殿等の復元時に再使用する方向で検討を進めていく。

【首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア 概要】

- ・主 催：沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄美ら島財団
- ・開催日程：1期目／R2年3月23日～4月4日（コロナで中断） 2期目／R2年10月24日～12月25日
3期目／R3年3月20日～4月18日 4期目／R3年11月6日～11月14日
- ・活動場所：首里城公園内 後之御庭（くしぬうな一）



令和3年度「首里城復興祭」

- 火災から2年となる令和3年10月30日～11月3日に、首里城公園において「首里城復興祭」(主催:首里城祭実行委員会)が開催され、琉球王朝の国王と王妃の行列を再現した「国王・王妃 出御」や伝統芸能公演等が行われた。
- 併せて、関連イベントとして、プロジェクションマッピング(オンライン)や復興祈念ステージ等が行われた。



国王・王妃 出御



伝統芸能公演



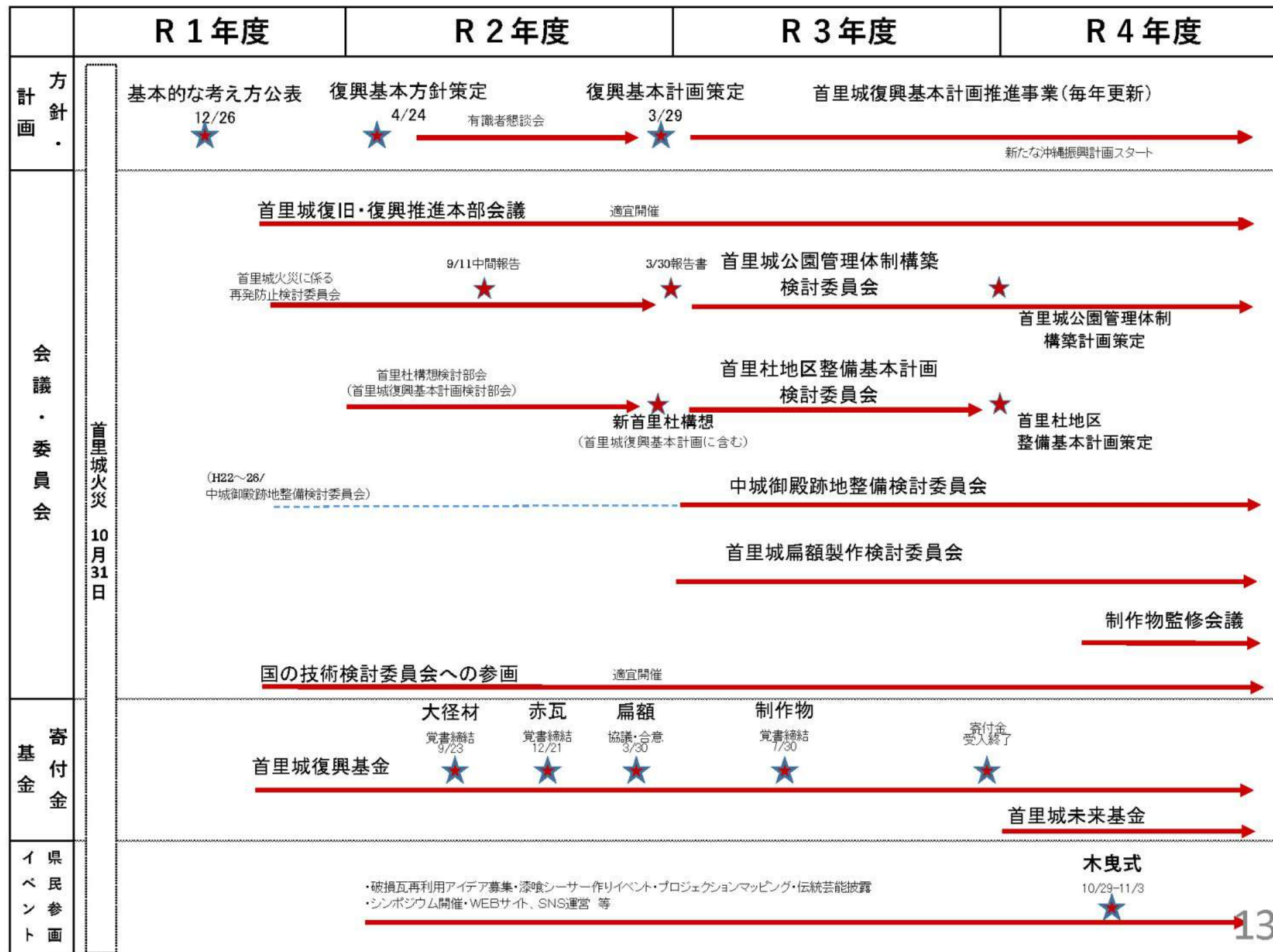
プロジェクションマッピング(オンライン)



復興祈念ステージ

県の首里城復興に向けた取組状況

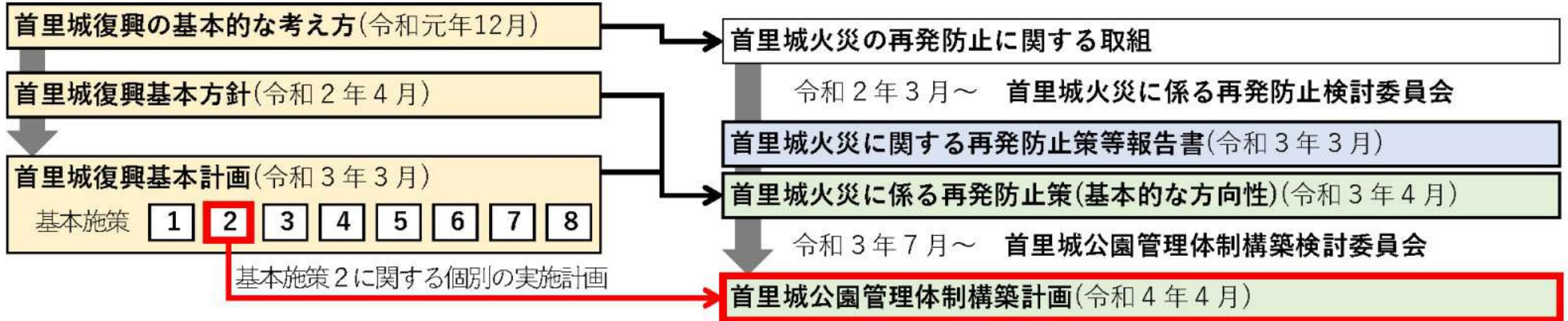
首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）



首里城公園管理体制構築計画（令和4年4月策定）の概要

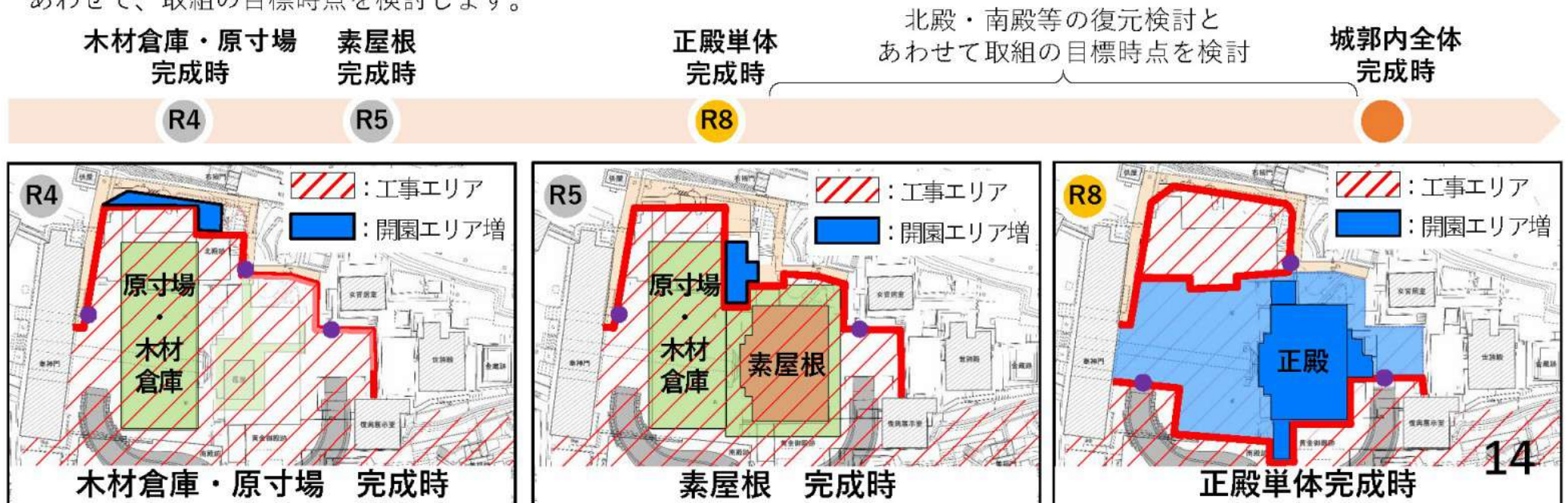
<計画の位置づけ>

本計画は、首里城復興基本計画の基本施策2「火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化」に関する個別の実施計画であり、「首里城火災に関する再発防止策等報告書」の提言を踏まえ、沖縄県が策定した「首里城火災に係る再発防止策（基本的な方向性）」の具体的な行動計画を示すものです。



<首里城公園の管理体制の構築を目指す時点（取組の目標時点）>

正殿工事等に伴う首里城公園内の状況の変化に応じた管理体制の構築が求められることから、本計画における**管理体制の構築を目指す時点**を以下の4つの時点としました。なお、正殿単体完成時から城郭内全体完成時までは、北殿・南殿等の復元検討とあわせて、取組の目標時点を検討します。



首里城公園の管理体制の構築に向けた取組の実施工程表

【令和4年4月策定】

年度 取組	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
管理運営の 仕組みの見直し (制度の活用方法、 業務内容等)	制度の活用方法の見直し方針 ④-1 ④-2 ④-3 次期の管理期間の業務内容 (防災関連)の見直し方針 ④-2	防災機能の向上を目指す制度(仕組み)の詳細検討 (防火管理の適切な実行体制の確保) ④-1 ④-2 防災センター機能の役割分担を踏まえた制度(仕組み)の検討 (消防法等の関係法令や必要な規定等の検討を含む)	継続的な改善に向けた新たな仕組みの検討 (防災・防火対策に関する公園全体の横断的な仕組み) ④-3	公園全体での 取組の実施 ④-3		
防火設備等 の運用体制	防災センター機能の役割分担等 (城郭内火災) ①-1	防災センター機能の役割分担等 (風水害、地震等) ①-1	初動対応等の詳細検討 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 人員配置、詳細な役割、円滑な誘導方策、 情報共有、災害情報の伝達等の検討	具体的な対応等の明確化 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 → ④-2	実施設計等を踏まえた見直し等 ①-2 ①-3 ②-1 ②-2 ③-1 ①-4 ③-2 → ④-2	正 殿 単 体 完 成 時 の 管 理 運 営
初動対応の検討 (初期消火、 避難誘導等)	正殿工事中の 防災センター機能の役割分担等 ①-1	正殿工事中の初動対応等の詳細検討 具体的な対応等の明確化、防災訓練等の検討 ①-2 ①-3 ②-1 ③-1 ①-4 ③-2 → ④-2 ②-3 ・木材倉庫完成時 ・素屋根完成時	具体的な対応等の明確化の検討 例) 初動対応マニュアル等	設備等の実施設計を踏まえた 具体的な対応等の見直し	防災訓練等の実施 ②-3	
防火設備等 の整備	防災センター機能 の向上の考え方 ①-1	詳細検討 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2 防火設備等の詳細検討 (国と県の役割分担等を含む) 復元基本方針 ※国の検討	基本設計 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2 防火設備等の基本設計等 (国と県の役割分担等を含む) 全体基本計画 ※国の検討	実施設計 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2 全体基本計画を反映した 防火設備等の実施設計等	工事 ①-2 ①-3 ①-4 ③-2 火災受信機、監視モニター、放送設備、 自家発電設備等の整備	
管理センター 及び首里杜館 の増築・改修	整備方針 ①-2 ①-3	基本設計 ①-2 ①-3 管理センター及び首里杜館の 基本設計(景観検討を含む)	設備等の詳細検討を反映 実施設計 ①-2 ①-3 管理センター及び首里杜館の 実施設計(建築審査会等を含む)	増築・改修工事 ①-2 ①-3 管理センター及び首里杜館の 増築等(防火設備等を除く)	工事 ※国が実施 国営公園との連携構築に伴う設備等の整備 (城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
管理運営に 関する手続き等 (事業者の選定等)	①-1 ④-2 検討結果等を反映	次期・管理期間 に向けた手続等	①-1 ①-3 ②-1 ②-3 ③-2 ④-2 ①-2 ①-4 ②-2 ③-1 ④-1 ④-3 検討結果等を反映	次々期・管理期間 に向けた手続等		
	現在の管理期間	～R5.1.31	R5.2.1(県営R5.4.1)～R8.3.31(想定)	次期・管理期間		次々期・管理期間 R8.4.1～R13.3.31(想定)

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元(再現)を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地(首里城公園(県営区域)内)

【規模・総事業費】

敷地面積 : 約11,330㎡

延べ床面積: 約3,870㎡(RC造3,030㎡、木造840㎡)

総事業費 : 約55億円

【令和3年度整備基本計画改定の概要】

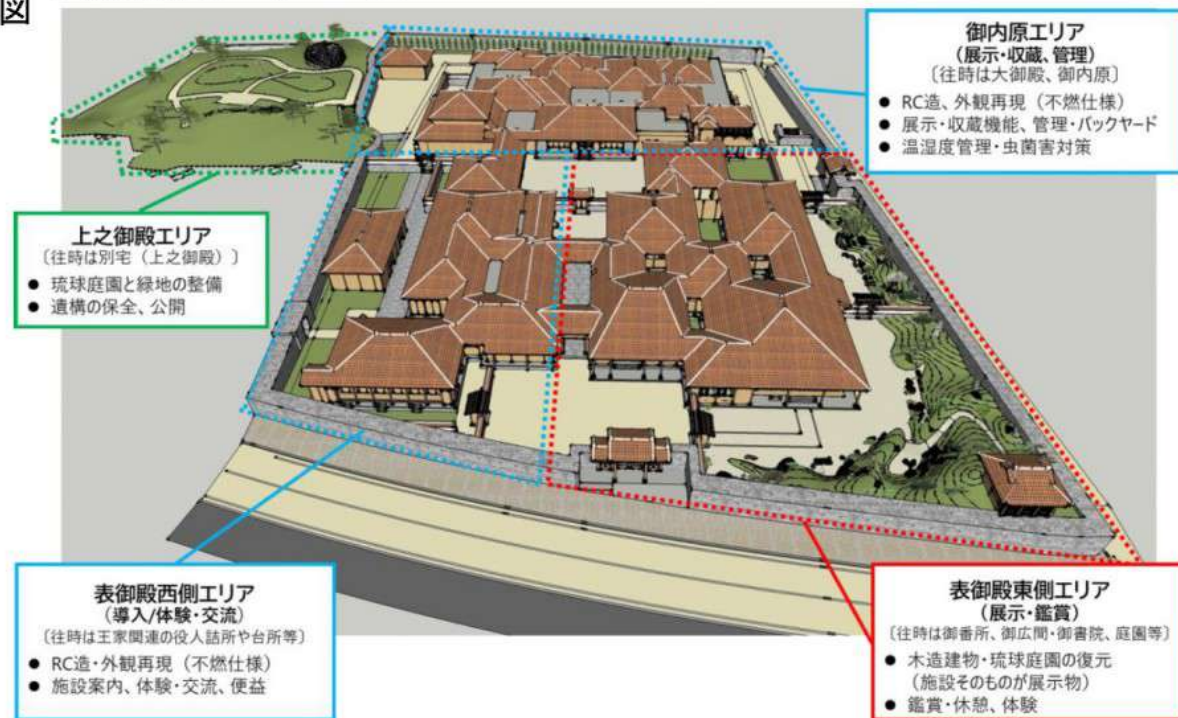
・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し

①展示収蔵計画の拡充見直し(美術工芸品の保存管理)

②施設全体の防災・防火対策の強化

③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

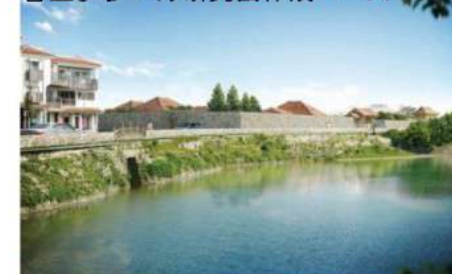
中城御殿イメージパース



【中城御殿整備スケジュール(案)】

	項目	事業	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
城郭内	正殿復元	国営公園事業	実施設計	免注手続(WTO)		工事		正殿完成	※城郭内スケジュール 令和2年3月公表「首里城正殿等の復元等に向けた工程表」参照				
	松崎馬場など 龍潭周辺整備	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		松崎馬場など龍潭周辺整備 調整、設計		工事		＜令和8年首里城正殿復元工事完成予定＞	公開(供用開始)				
中城御殿	【第1期工事】 上之御殿 (庭園・広場)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		上之御殿 設計	工事				公開(供用開始)				
	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)	社会資本整備 総合交付金事業 (公園事業)		御内原・表御殿西側 設計 ※時期調整中	工事				公開(供用開始)				
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整					表御殿東側 設計			木材調達、木体工事			

首里まちづくり研究会作成パース



1945年の写真



首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「**新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進**」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。

○計画期間

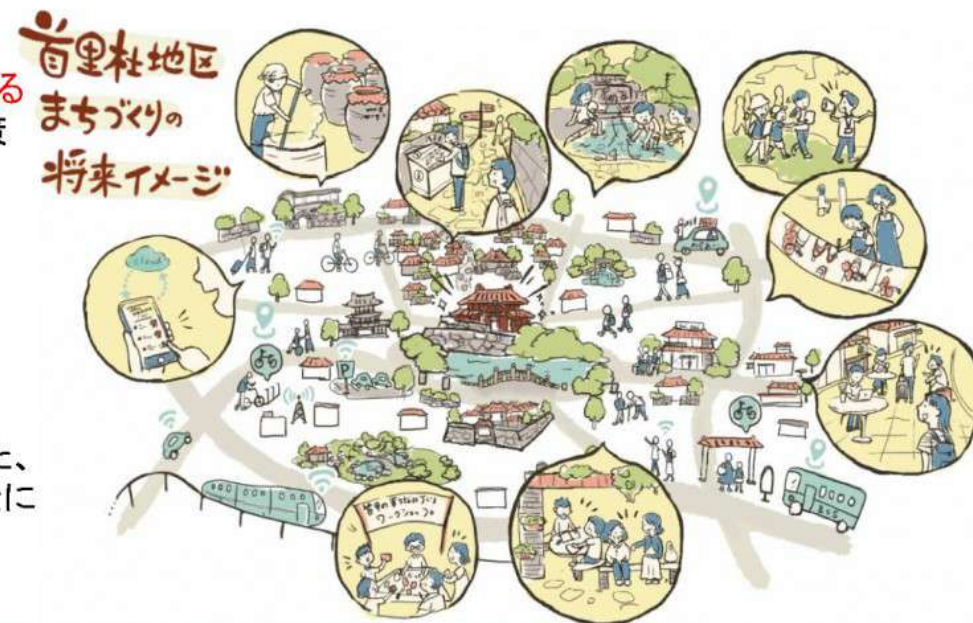
- ・計画期間は、**令和4年度から令和13年度までの10年間**とする。
- ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、**具体的なロードマップ**を整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに**関連する施策や事業をパッケージ化**した点が特徴である。

○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「**首里杜まちづくり推進協議会**」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施予定。協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、計画の実現に向けた**推進体制を構築**する予定である。



○取り組みロードマップ（一部抜粋）

2026(令和8)年 首里城正殿完成予定

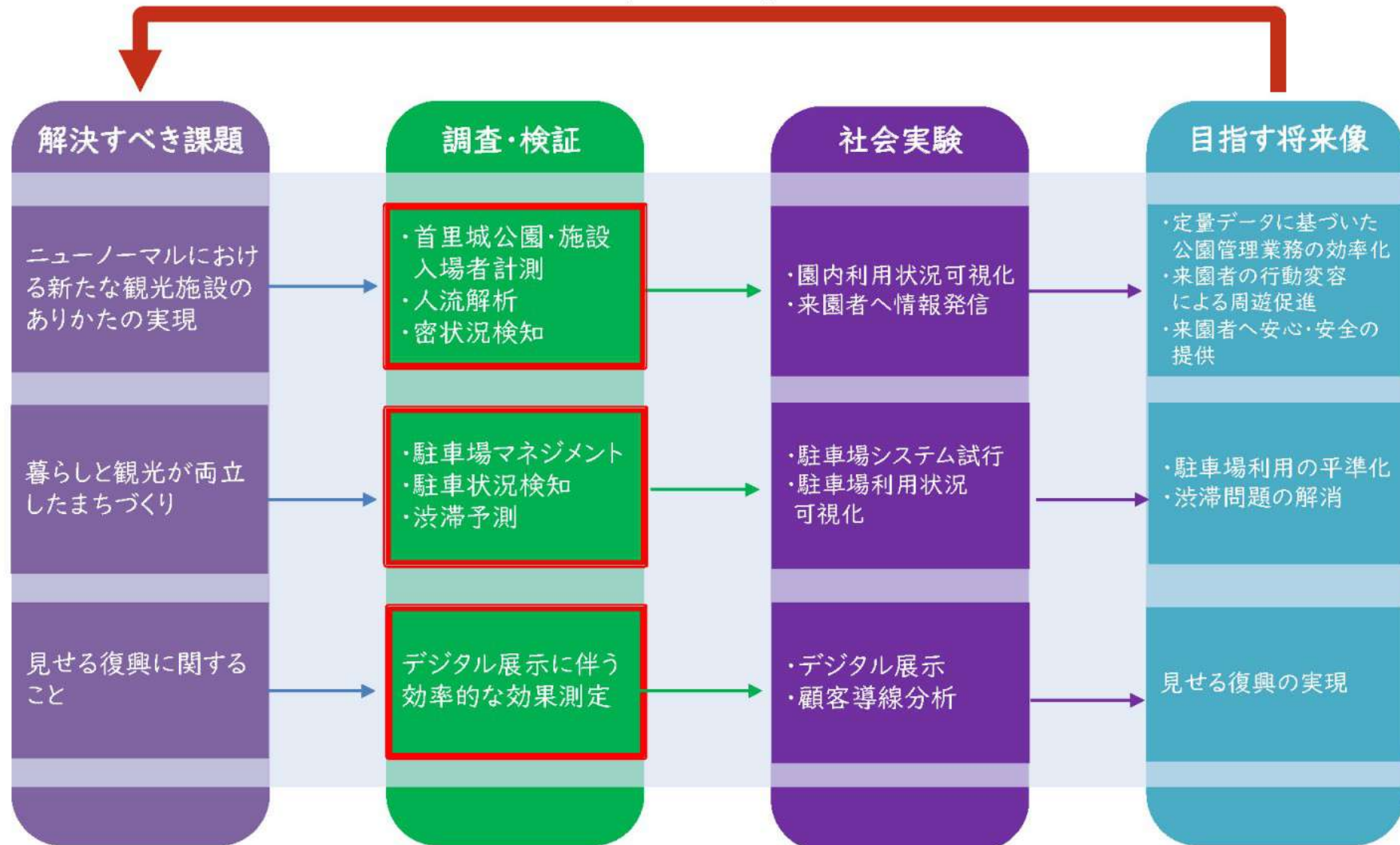
方針	中項目	小項目	取り組み No	継続 or 新規	事業	事業主体	前 期（5年）					後 期（5年）
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027～2031年度 令和9～13年度
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	① 古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)						
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)						
			11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)						
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	① 幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)						
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)						
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)						
			18	継続・新	龍潭園地整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)						
	② 拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、壱世門等の修復保全)	県(文化財課)						
			21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)						
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)						
			23	新	首里杜駐車場の大型バス予約制による平準化	県(首里城復興課・都市公園課)						
			24	新	駐車場の歩道橋線の整備・誘導(首里杜駅及び(周辺)駐車場)	県(首里城復興課・都市公園課)						

首里城復興におけるDX実現への検討

連携協定締結企業「SCSK」

目指す将来像と解決すべき課題からのバックキャスティング^(※)で
「DX:デジタルトランスフォーメーション」を実現

(※) バックキャスティング:「未来のあるべき姿」(目指す将来像)から逆算して、改善を繰り返して実現を目指すこと

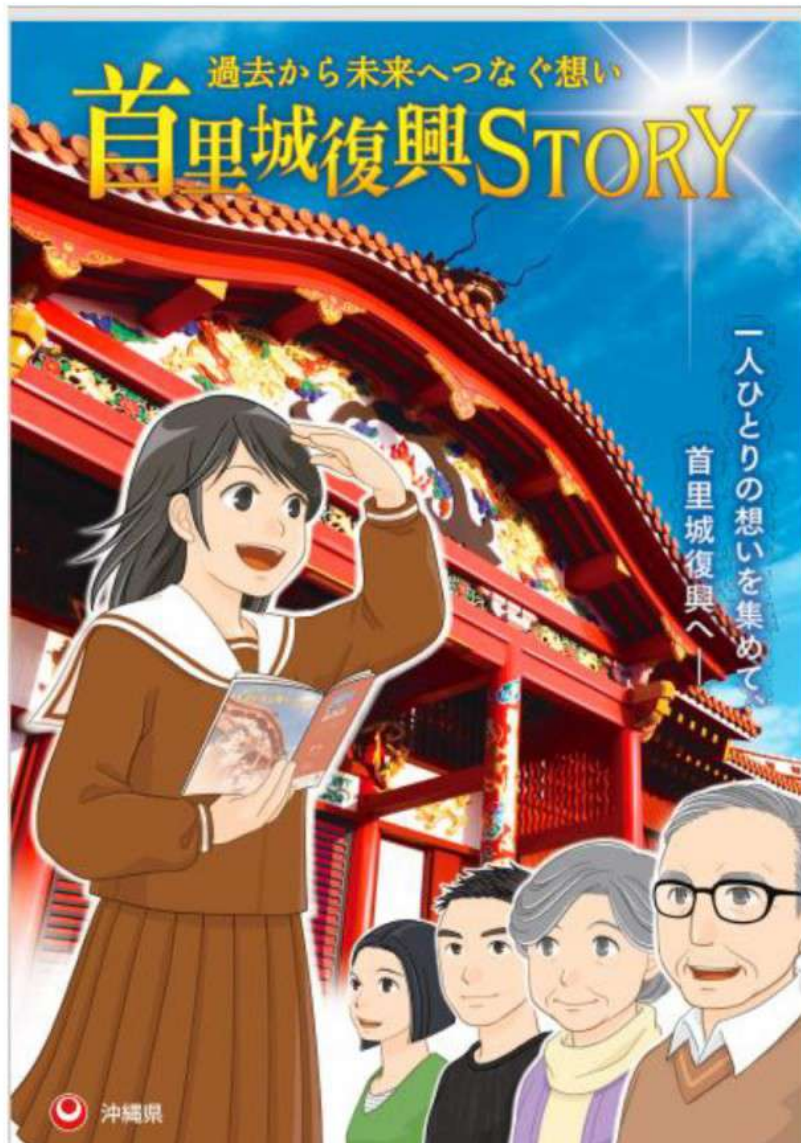


□・・・R3年度着手中

首里城復興における課題解決の継続的DX推進

首里城復興の次世代継承に向けた取組（副教材作成・配布）

- 首里城に象徴される沖縄の歴史と文化を次世代へ継承していくため、「首里城復興STORY～過去から未来へつなぐ想い～」を発行し、県内全ての小・中・高・支援学校にDVD又は冊子を配布。一部学校での出前授業も実施した。
- 本冊子は動画にし、首里城復興サイトに掲載しており、いつでも閲覧可能。



詳細は、「首里城復興サイト」
をご覧ください。

首里城復興サイト



<https://www.shurijo-fukkou.jp/video/>



県内中学校での出前授業の様子

学術機関と連携したシンポジウム開催

琉球大学・県立芸術大学・県の共催で首里城復興の学術的なシンポジウム（オンライン）を開催



地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学
第8回 琉大未来共創フォーラム
Island wisdom, for the world, for the future.

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催

首里城再興学術ネットワーク シンポジウム2021

～首里城の復興、まちづくり、琉球文化のルネサンス～



日時：令和3年10月3日(日)
10:00～16:30

◇プログラム◇
開会挨拶：歌多野 泉 沖縄県立芸術大学長
第1部：口頭発表(演者8組)
昼の部開会挨拶：玉城 デニー 沖縄県知事
第2部：基調講演 田名 真之氏(沖縄県立博物館・美術館館長)
第3部：ポスターセッション(発表16題)
第4部：パネルディスカッション
閉会挨拶：西田 睦 琉球大学長

**WEB開催
(定員450名)**

事前お申込みについて(先着450名)

◆お申込み方法：申込フォーム(右のQRコード)から必要事項を入力の上、
9月27日(月)17:00までにお申込みください。
WEB参加方法等のご案内をお送りいたします。
お電話、FAXでのお申込みは受付できませんので、ご了承ください。
※定員に達した場合、期日より前に締め切る場合がございます。

◆QRコードが読み込めない場合はこちら⇒<https://forms.office.com/r/A32fzuvkZF>

協力：一般財団法人沖縄県立芸術大学、NPO法人首里まちづくり研究会、沖縄国際大学南島文化研究所、
後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、FMレキヤ、
沖縄テレビ放送株式会社、株式会社沖縄タイムズ社、株式会社ラジオ沖縄、株式会社琉球新報社、琉球朝日放送株式会社、
琉球放送株式会社

お申込フォー
ム



第8回 琉大未来共創フォーラム首里城再興学術ネットワークシンポジウム2021プログラム

お申込みいただいた方へメールでプログラムへのWEB参加方法等のご案内をお送りいたします。

第1部：口頭発表（Zoomウェビナーにて開催 10:00～12:10）

- ① 計画 「首里城再興学術ネットワーク」について（琉球大学研究推進機構特命教授 富永 千尋）
- ② 歴・文 『琉球文学大系』刊行事業について（名桜大学国際学群上級准教授 照屋 理）
- ③ 収蔵品 首里城美術工芸品の現状とこれから（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室室長 幸喜 淳）
- ④ 収蔵品 漆工品の復元製作と後継者育成（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 工芸専攻漆芸分野 准教授 當眞 茂）
- ⑤ 正説 発掘調査成果から見る首里城正殿跡（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員 山本 正昭）
- ⑥ 正説 首里城正殿復元に向けた首里城瓦に関する調査研究（沖縄県工業技術センター環境・資源班主任技師 花城 可英）
- ⑦ 正説 首里城復元に係る県産木材の活用について（沖縄県農林水産部森林管理課主幹 比嘉 政隆）
- ⑧ まち 50年後、どんな首里のまちにしたいですかー住民目線で発信する街づくりの提言ー（NPO法人首里まちづくり研究会理事長 伊良波 朝義）

第2部：基調講演（Zoomウェビナーにて開催 13:00～13:55）

首里城復元の意義と課題（沖縄県立博物館・美術館館長 田名 真之）

第3部：ポスターセッション（ポスターは首里城再興学術ネットワークHPに掲載 14:00～15:00の間、Slackにて質疑応答を実施します）

- ① 計画 首里城復興基本計画について（沖縄県知事公室特命推進課主幹 大濱 長健）
- ② 計画 「首里城再興学術ネットワーク」について（琉球大学研究推進機構特命教授 富永 千尋）
- ③ 歴・文 『琉球文学大系』刊行事業について（名桜大学国際学群上級准教授 照屋 理）
- ④ 歴・文 首里城再建と蔡文溥（名桜大学国際文化研究科博士後期課程院生 前堂 颯也）
- ⑤ 歴・文 あの世の住まいに立つ龍柱 ～近世琉球の人びとの首里城イメージ～（沖縄国際大学総合文化学部准教授/沖縄国際大学南島文化研究所 宮城 弘樹）
- ⑥ 収蔵品 首里城美術工芸品の現状とこれから（沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室室長 幸喜 淳）
- ⑦ 収蔵品 漆工品の復元製作と後継者育成（沖縄県立芸術大学美術工芸学部・造形芸術研究科准教授 當眞 茂）
- ⑧ 正説 平成の首里城復元（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員 宮城 修）
- ⑨ 正説 首里城正殿復元に向けた首里城瓦に関する調査研究（沖縄県工業技術センター環境・資源班主任技師 花城 可英）
- ⑩ 正説 非破壊的な理化学分析による首里城瓦の製作技術の変遷の解明（琉球大学博物館(風樹館)助教 佐々木 健志）
- ⑪ 正説 放電プラズマ焼結法を用いて首里城破損瓦をリサイクルしたセラミックスについて（琉球大学大学院理工学研究科院生 新城 友秀、琉球大学工学部学生 三宅 正将、琉球大学工学部准教授 神田 康行）
- ⑫ 正説 首里城復元に係る県産木材の活用について（沖縄県農林水産部森林管理課主幹 比嘉 政隆）
- ⑬ 正説 首里城正殿再建に使用する県産木材の基準強度評価プロジェクト（琉球大学工学部教授 カストロ ホワンホセ）
- ⑭ まち 50年後、どんな首里のまちにしたいですかー住民目線で発信する街づくりの提言ー（NPO法人首里まちづくり研究会副理事長 平良 斗星）
- ⑮ まち 複層的な首里歴史まちづくりー城下町首里の都市形成史と水と緑のランドスケープ（琉球大学工学部教授 小野 尋子）
- ⑯ まち 複層的な首里歴史まちづくりー首里「瑞泉」環境をSTEAM/SDGs教育に活用するプロジェクト（琉球大学理学部教授 古川 雅英）

第4部：パネルディスカッション（Zoomウェビナーにて開催 15:15～16:30）

学術ネットワークの役割 ～首里城の復興、まちづくり、琉球文化のルネサンス～

ファシリテーター：木暮 一啓(琉球大学企画・研究担当理事・副学長)

パネリスト：田名 真之(沖縄県立博物館・美術館館長)、下地 芳郎(沖縄観光コンベンションビューロー会長)、
小林 純子(沖縄県立芸術大学美術工芸学部長)、いのうえ ちず(首里まちづくり研究会副理事長)、
島袋 芳敏(沖縄県政策調整室)

【個人情報について】本フォーラム申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、本フォーラムの参加者への案内・運営以外の目的には使用いたしません。

多様な主体による首里城復興への思いを発信（動画製作）

- 世代や立場を超えて、様々な主体による首里城復興に対する多様な取組が相互に連携・協働できるよう、関係者へのインタビュー動画「[#つながる首里城](#) への思い」を公開。（副教材用のコンテンツもあわせて掲載）



首里城復元工事の国担当者



管理体制に関する検討
委員会の委員長



首里城公園の県担当者



被災した美術工芸品の
修理担当者



伝統芸能を学ぶ大学生



伝統工芸を学ぶ大学生



首里で活動する地域団体
代表者



首里の景観まちづくり
担当者



首里の魅力を紹介する
観光ガイド



首里織の継承に取り組
む織り手



現代版組踊の舞台に立つ
中高生



首里城募金活動を主催
した学生



首里城再興に関わる研究者
たち



首里城応援ソング作曲家



首里城を県外学生へ情報
発信する高校

（副教材コンテンツ）



首里城復興STORY
～過去から未来へつな
ぐ想い～



琉球文化「組踊」を学ぶ

詳細は、「首里城復興サイト」をご覧ください。

<https://www.shuri.io-fukkou.jp/video/>

首里城復興サイト



首里城図柄入り自動車ナンバープレート導入計画

(1) 地方版図柄ナンバープレート制度の概要

- ✓ 国土交通省においては、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、地域の風景や観光資源を図柄にした地方版図柄入りナンバープレートを交付している。
- ✓ ナンバープレートの発行費用時、1,000円以上の寄付をしてくれた場合、フルカラーとなる。この寄付金は、導入地域における地域交通のサービス改善、観光振興などに資する取組への「助成事業」に活用される。



(2) 首里城図柄プレートの導入で期待できる効果

イメージ(デザインは1つのみで、白黒とカラーがある)

- ✓ プレートを導入することにより、県民の首里城復興への継続的な関心につながる。
- ✓ プレート発行に伴う寄付金を活用し、地域を主体とした首里城近辺の交通問題解消、観光と調和したまちづくり等に継続して取り組むことが可能。

(3) 令和3年度の実施状況

- ✓ 県内41市町村全てから、首里城をモチーフとした図柄導入への同意取得済み
- ✓ 国(沖総局)、美ら島財団、OCVB、レンタカー協会、県による検討チーム発足済み
- ✓ 県内在住の18歳以上を対象にアンケートを実施し、71.3%が首里城図柄導入に賛成(サンプル数736)

(4) 今後のスケジュール

- ✓ R4年度中に国へ導入申請、デザインを決定
- ✓ R5年度にプレート発行開始予定

	(736)	100%
賛成である	525	71.3%
反対である	51	6.9%
どちらでもよい	160	21.7%

令和3年度首里城復興イベント概要

令和3年度
首里城復興イベント
興を願ひ、
応援しよう。

開催期間 | 2021.10/30(土)・31(日)・11/3(水)

参加無料 オンラインで視聴・参加しよう!!
琉球文化・歴史を学び、体験できる3日間!!

事前予約制
オンライン体験
参加費200円
参加記念品プレゼント

首里城の破損瓦でつくる
漆喰シーサーづくり
1日市員200名限定のオンライン無料ワークショップ。火災で破損した首里城の瓦を用いて「漆喰シーサーづくり」を行います。琉球スタッフが丁寧にレクチャーするので、お子様でも気軽に楽しみいただけます。
時間 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
※参加費は100名までとなります。

漆喰シーサー体験申込方法

STEP 1	上記のQRコードを読み込んで希望日の漆喰シーサーづくりを選択 ※申込受付期間 10月7日(木)～20日(木)
STEP 2	参加する日時の欄に体験者数を記入
STEP 3	イベントの概要・注意事項を確認後、「チケットを申込」で完了
STEP 4	申込後、開催前に漆喰シーサーキットが届きます
STEP 5	漆喰シーサーキットに同梱されているZoomのQRコードを読み取り開催10分前に入室してください

※当日は、参加費200円(税込)がかかります。
※本イベントにはZoomアプリ(無料)をダウンロードして参加をお願いします。
※必ず事前にパソコンまたはスマホのZoomのインストールとログインをお願いします。
※Zoomの「専用ルームURL」は、開催3日前までにメールにてご提供いたします。
※必ずその日のZoomのURLをのぞいてください。お間違いのないようお願いします。
※本イベントは、Zoomアプリが動作しない場合は、必ず事務局までお問い合わせください。
※キャンセルの場合は、開催前日の18時までに事務局までお問い合わせください。

色とりどりの空を彩る31日
漆喰シーサー写真展
※応募方法は、上記のQRコードを確認下さい。

オンライン上映
首里城プロジェクト マッピング
首里城公園内に残存する「飲食門」「北城郭」「広福門」「京の内」の4箇所が映像と音楽に彩られ、おぼろに見えたとはいえないほどリアルな映像をお楽しみいただけます。
日時 10/31 19:00～19:40
※Epsonの協賛による上映です。

オンライン上映
首里まちを学ぶ! 首里周遊ガイド
首里城にまつわる貴重なスポットや歴史ある城下町を巡る「オンライン首里周遊ガイド」。小学生から大人まで、楽しめる3つのコースをご用意いたしました。この機会にぜひ首里のまちを巡り、さまざまな角度から琉球の歴史・文化をご体感ください。
時間 ①10:00～ ②13:00～ ③15:00～
◆首里物語り ◆世界遺産 玉陵と金城町石畳めぐり
◆首里城下町物語～湧き水を訪ねて～
首里城の現在の復興状況も紹介します!

ものづくり体験×地域交流

R4. 3/5～6 会場：中城御殿跡



ナイトタイムコンテンツ

R4. 3/4～6 会場：首里城公園



夜の琉球芸能(下之御庭・北城郭ステージ)



オキナワウラジロガシ苗木づくり等

R4. 2/28 会場：国頭村

- ①「国頭村と首里城のつながり」を学ぶ出前講座
- ②「未来の首里城に」子どもたちの苗木づくり
(オキナワウラジロガシの後継木)



令和首里城復興イベント実行委員会の設立について

- 沖縄県では、平成復元時にも行われた故事である「木曳式(こびきしき)」に倣い、令和首里城復興イベントを実施します。
- 県産材等を活用する観点から関係自治体や団体と連携して、木曳パレード及び木遣行列などのイベントを令和4年秋に実施するため、実行委員会を設立し、第1回実行委員会を開催しました。



首里城復興基本方針

正殿等の早期復元と復元過程の公開

イベントを実施することで首里城復元を段階的に公開し、復興への継続的な関心につなげる

首里城復興基本計画

復興基本計画の着実な推進のために目指す姿

木曳式等復元の各段階における重要行催事の機会を中心に、多くの人々が関われる各種イベントを実施すること

令和首里城復興イベントの実施

平成時にも行われたように、沖縄県民をはじめとする首里城復元・復興を願う様々な主体に向けて、復元工事の始まりを記念するとともに完成を祈願し、往時の故事（木遣）に倣いつつ、県産材を活用する自治体や関係団体と連携して令和首里城復興イベントを実施する

「木曳式(こびきしき)」

琉球王朝時代に首里城正殿等の造営や修復に使用する御材木を運ぶ際に行われた行事。平成時は木遣行列も含めた祭事の総称として使用していた。

「木遣(きやり)」

木を運ぶ（＝遣り渡す）という意味。神社造営の神木などの建築用木材を大勢で運ぶときに使われる。平成時は木曳式のメインイベントとして位置付けられていた。

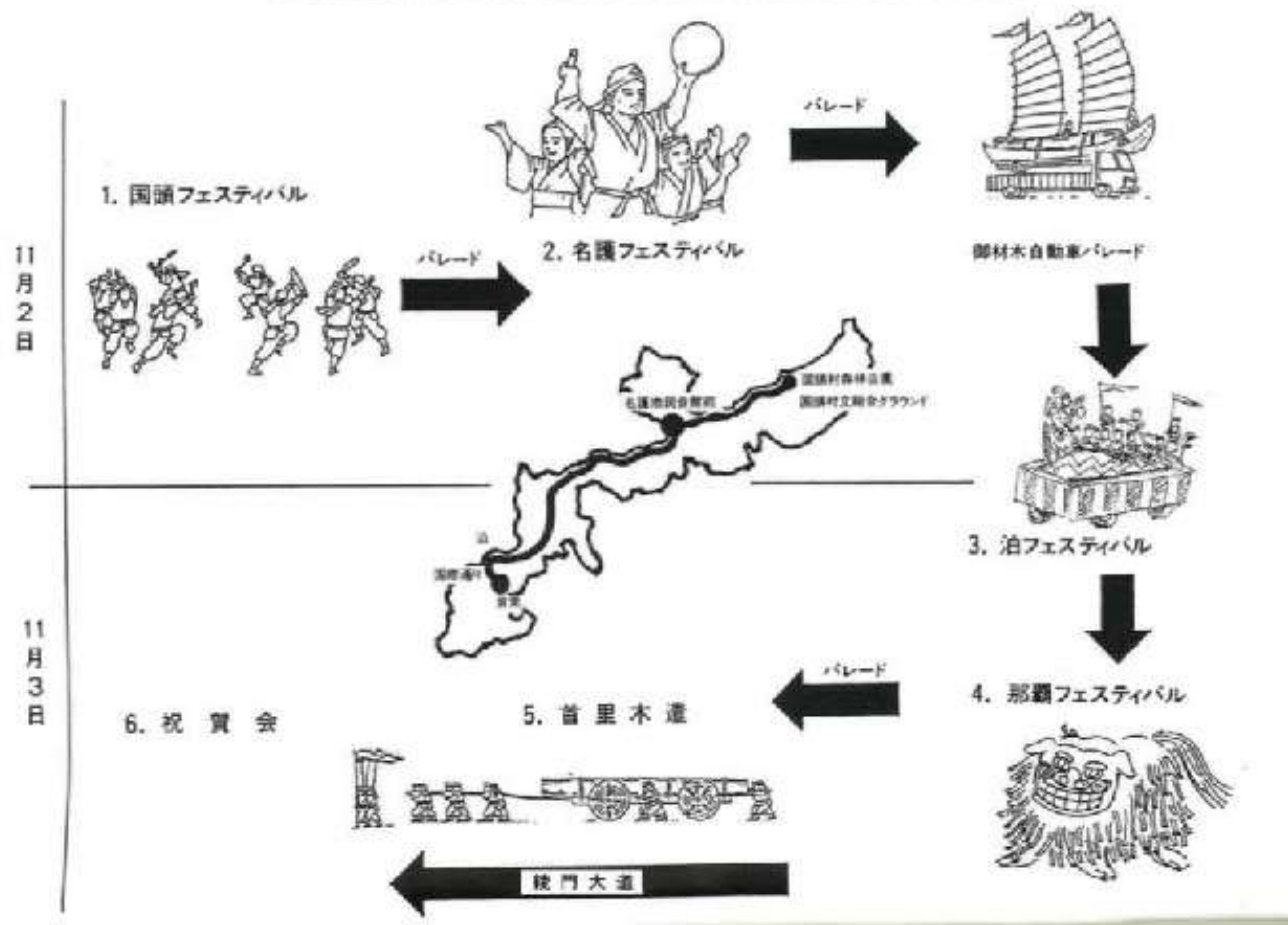
復帰50周年事業

として実施予定

首里城に象徴される歴史文化への理解を深め、県内外へ周知することで、これまでの沖縄の発展のあゆみや今後の展望についても発信する。

平成の木曳式について

首里城木曳式イメージ図



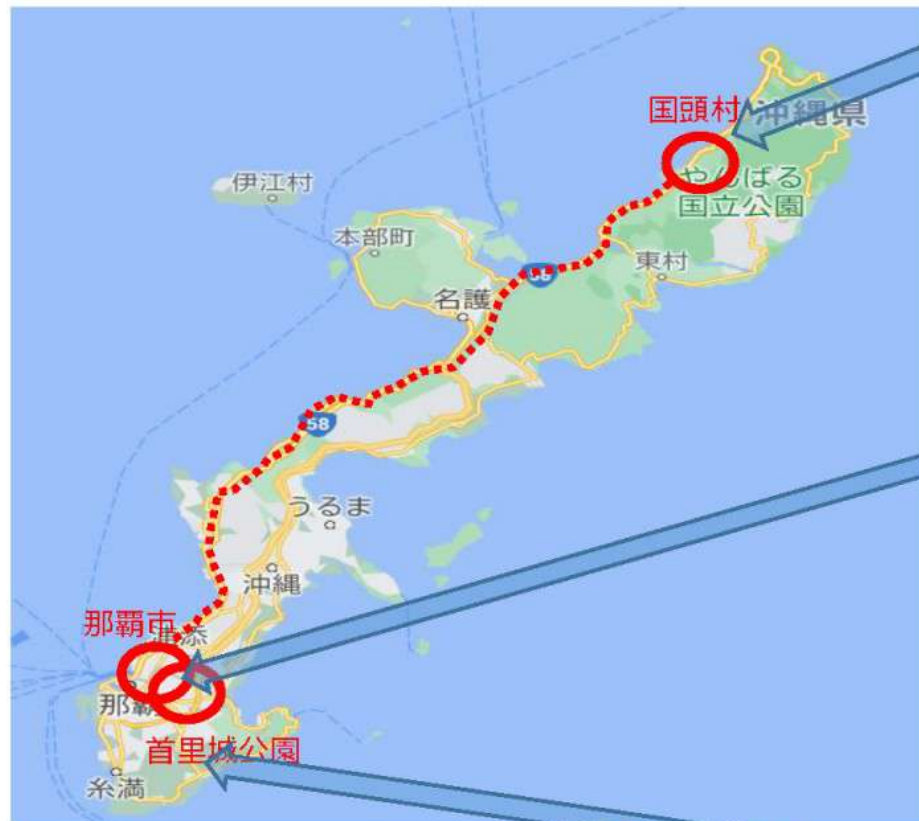
木曳式(パレード)の様子



木遣行列の様子

首里城復元期成会を筆頭に実行委員会形式で実施。沖縄総合事務局長及び沖縄県知事は顧問として参加。財源は負担金、協賛金で賄われていた。

令和首里城復興イベントの実施イメージ（想定ルート）



【起点】
国頭村

ステージ出発セレモニー

日時：令和4年〇月〇日(〇)10:00～11:00

場所：国頭村 道の駅ゆいゆい国頭

【中継点】
那覇市

他イベントと合同パレード

日時：令和4年〇月〇日(〇)14:00～15:00

場所：那覇市国際通り

【終点】
首里城公園

公園内で木遣行列イベント

日時：令和4年〇月〇日(〇)15:30～16:30

場所：首里城公園内

首里城御材木自動車パレード



日時：令和4年〇月〇日(〇)
11:00～16:30

想定ルート：
国頭村～那覇市(国際通り～
首里城公園)

令和首里城復興イベント実行委員会

検索

詳細は、「令和首里城復興イベント実行委員会ページ」をご覧ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/koen/hukkouivento/jikkouiinkai.html>

首里城復興に係る寄附金の状況

沖縄県に寄せられた寄附金受入状況

5,541,420,099円（令和3年度末）

首里城火災復旧・復興支援寄附金は令和4年3月末を以て受入終了し、令和4年4月1日からは新たに首里城未来基金へのご寄附（首里城歴史文化継承支援寄附金）を募集しております

首里城火災復旧・復興支援寄附金

皆さまからのご寄附は、「首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、城郭内の正殿をはじめとした施設等の復元に活用します。

その内容は、「沖縄県公式 首里城復興サイト」等でお知らせします。

首里城復興基金(寄附金)活用取組(国との協議)状況

沖縄県首里城復興基金への寄附金は、令和3年度末時点で約55億円が寄せられており、正殿の木材、瓦、屋外彫刻、室内装飾等に活用することが決定している。

沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の城郭内の施設等の復元に活用する。

活用に関する方針 第2より

首里城正殿の復元まで (第1フェーズ)

令和4年3月31日時点

※寄附金 総額
約55.2億円
【約24億円】

【】内は県で想定した
概算見込み額

(1)正殿の木材調達に関する事業

○大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部

→令和2年9月 国と覚書締結 令和3年7月に国と調達範囲を協議し事業開始

○大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材・化粧材

→令和3年7月 国と覚書締結 令和4年9月頃に国と調達範囲を協議し事業開始予定

(2)正殿の赤瓦調達に関する事業

→令和2年12月 国と覚書締結 令和3年度 試作開始 令和4年度以降に国と協議予定

(3)大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、 屋外彫刻の復元に関する事業

○石彫刻(大龍柱等)・木彫刻(唐破風妻飾等)

→令和3年7月 国と覚書締結 令和4年9月頃に国と調達範囲を協議し事業開始予定

○焼物(龍頭棟飾等)

→令和3年7月 国と覚書締結 令和4年度以降に国と調達範囲を協議し事業開始予定

(4)扁額などの室内装飾の復元に関する事業

○扁額 →令和3年3月 国と協議同意 令和3年度 事業開始

○扁額以外→令和3年7月 国と覚書締結 令和4年9月以降に国と協議し事業開始予定

正殿復元後 (第2フェーズ)

(5)～中略～北殿及び南殿
等の復元に関する事業

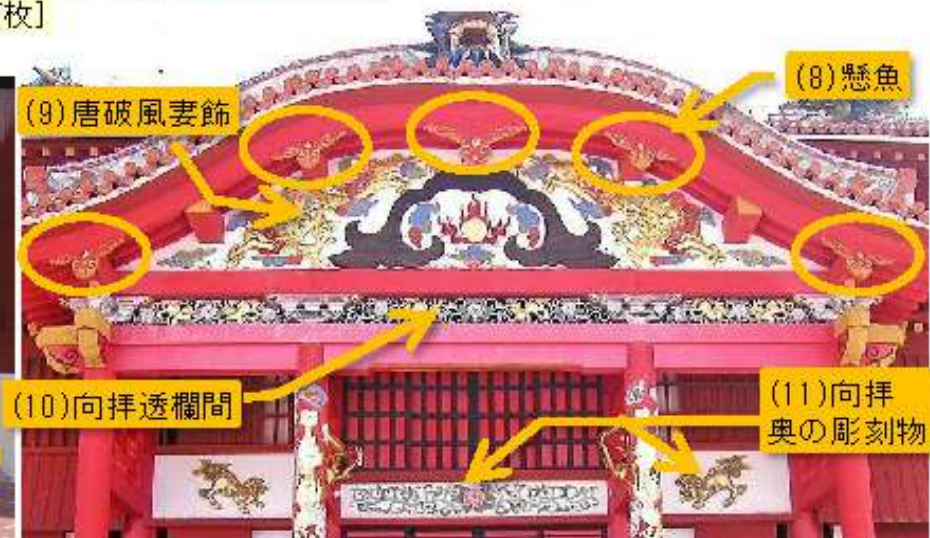
首里城復興基金(寄附金)の正殿への主な活用事業(予定含む)

部位		種類	名称
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約80,000枚] [金型・機材・環境整備]
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石
	(5)	"	小龍柱
	(6)	"	石高欄/持送石 (いしこうらん)
	(7)	"	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]
	-	"	石階段
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)
	(9)	"	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)
	(10)	"	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)
	(11)	"	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)
室内装飾	(13)	"	鬼瓦[4個] (おにがわら)
	(14)	"	磚瓦[約1,500枚] (せんがわら)
	(3)	漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]
	(15)	布飾り	1階 御差床環珞 (うさすかようらく)
	(16)	造作・彩色	台御差床 (たいうさすか)
	(17)	造作・彩色	御差床 (うさすか)

【凡例】 青字 : R3までに国と調達範囲を協議済
赤字 : R4.7頃に国と調達範囲を協議予定
黒字 : 今後国と調達範囲を協議予定



正殿以外の赤瓦[約30万枚]



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

〈目的〉

ちゅうざんせいど しゅうずいきゅうよう えいそえいぜん

- 首里城火災で焼失した正殿の二階に掲げてあった扁額3枚（中山世土・輯瑞球陽・永祚瀛壖）の製作に向けた課題、検討事項の整理を行い、その仕様や製作方法等を取りまとめ設計に反映させるため、首里城扁額製作検討委員会を設置する。

■検討委員会

- ・有識者・専門家5名（歴史・漆芸など）

■設計業務

- ・業務期間：令和3年7月頃～令和4年3月

■製作

- ・令和3年度の設計業務にて、前回と仕様が大きく異なることが分かった。令和4年度は、試作を行い、構造や色味等の詳細な仕様の検討を行い、令和5年度から本製作を開始する。
- ・仕様が大きく異なることから、国の正殿工事完成までに扁額1枚の完成を目標とする。
- ・製作期間：令和5年度～8年度（予定）

〈検討結果〉

◎文字・落款

文字については、前回製作を踏襲しつつ、当該皇帝の文字事例を参考とし、原書作成を行う。落款については、令和4年度に事例調査を踏まえ検討を行う。

◎木工・彫刻

新たな知見より、額縁が木彫刻ということが分かった。また、一部にイヌマキ材が使用されていることが分かった。

額縁の文様については、令和4年度に事例調査を行い、詳細を検討する。

ぎゅうしつ かしょく

◎髹漆・加飾

文字、額縁彫刻物は金薄磨とし、黄色塗りなどの詳細な色味については、令和4年度に試作を行い、詳細を検討する。

〈共同作業場の設置〉

平成の製作時と同様、共同作業場が必要となる。（扁額寸法は約350cm×150cmで、一般的な漆芸品より大きいため）

令和5年度より共同作業場の運用を予定している。

◎首里城公園内に設置することで、首里城来訪者への「見せる復興」や若手技術者等への「技術継承」を図る。

見せる復興：首里城来訪者に対し、城郭内での首里城正殿の復元過程の見学にあわせ、扁額の製作過程を見せる。

技術継承：隣接の県立芸大生等に対し、製作作業の主たる工程などを見たり参加しやすい場を提供し、技術継承に繋げる。



ヒノキ

- 柱材は165本のうち92本は粗挽き製材を行い、倉庫で保管している。(含水率は、17.6～60.8%の範囲で、平均32.2%)
- 柱材の残り73本は、山林で葉枯らし中のものや木材市場から手配し、3月末までに倉庫で保管予定。



イヌマキ



- 向拝柱用の7本は全て1月に収穫し、2月に6本は粗挽き製材を行っている。
- 樹皮付きのままの1本は、3月中はそのままの状態乾燥する予定。(含水率は、54.0～73.3%の範囲で、平均63.4%)



オキナワウラジロガシ

- 小屋丸太梁用の3本は全て2月に収穫し、樹皮付きのまま倉庫で保管している。



- 年輪の計測は、切断してそのままの状態では困難なことから、学識者等と相談しながら、今後実施する予定。

沖縄県工業技術センターによる首里城赤瓦の取組

- (1) 原土保管場所整備：県で令和3年度に整備済（R3.12月末に石嶺クチャの必要量を受入）
- (2) 原土確保：調達作業の役割分担を決めて、令和4年度の早期に正殿用分を確保したい。
[クチャ]中南部を主体に民間開発を含めて調整しており、焼成試験等を引き続き実施予定。
[赤土]中北部を主体に民間開発を含めて調整したところ、焼成試験で良好なものを確認。
- (3) シャモット化：令和3年度に破砕機選定のための試験破砕を実施したが、機材選定が困難。
壺屋陶器事業協同組合の陶土製造用設備を使用できないか調整中。
- (4) 金型：令和3年度は、現在の赤瓦製造ラインや試作瓦の検討結果を関係者で確認したので、
令和4年度は、構造が比較的単純な平瓦・丸瓦の金型製作の県内発注を予定。



原土保管場所整備状況(R3.12末時点)



焼成試験ピースと1mm破砕した赤土(うるま市石川)

首里城復興基金への寄付金受入終了 ～R4.3.31

I. 現在の寄附金(首里城復興基金)へのご寄附について

- 令和4年度からは正殿の復元工事が始まり、首里城復興は一つの節目を迎えることから、令和4年3月31日を以て同寄附金の受入を終了とすることを決定いたしました。
- 火災直後から現在もお、多くのご支援が沖縄県に寄せられ、復興の歩みを進める大きな力となっています。改めて、多くの皆さまの温かいご支援に心から御礼申し上げます。



R4.1.31 首里城復旧・復興推進本部会議
後に知事から発表

II. 現在の寄附金(首里城復興基金)の活用先

- これまでに、首里城正殿の象徴的な木材、赤瓦、彫刻品、装飾品等の調達・制作費用に充てることが決定されています。(左下図)
- 令和4年3月31日までにお寄せいただいた寄附金は、引き続き「沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針」に基づき、北殿・南殿等も含めた城郭内の施設の復元に活用させていただきます。(右下図)



【選定の考え方】

- 寄附者(来訪者)の皆様の目につきやすい「象徴部分」
- 県内に蓄積・継承されている伝統技術の活用にあ資するよう、県産材または県内職人が関わる箇所

引き続き首里城を思う国内外の多くの皆様と連携・協働し、一体的に復興へ取り組むため、その「思い」の受け皿となる基金と寄付金を創設する。

1. 基金名称 **首里城未来基金** (正式名称：沖縄県首里城歴史文化継承基金)

2. 設置目的

首里城に象徴される沖縄の固有の歴史及び文化の継承を目的として、県が行う事業の費用の財源に充てるため

3. 活用方法

(1) 伝統的な建造物(これと一体として設置される物件を含む)の建造又は修繕に関する専門的な知識又は技術を有する人材の育成 ⇒ **伝統的な建築等の技術の人材育成による継承**

※例：宮大工等の伝統的建造物木工、彫刻、塗装、彩色等の技術者育成

(2) 歴史的又は文化的に重要な施設の整備その他歴史的風致の維持及び向上 ⇒ **古都首里の歴史的空間創出による継承**

※例：中城御殿等の歴史文化施設整備、城郭等の修復保全、歴史的景観形成の推進

これまでの県・国の動向

県・国の動向 (2021年4月～2022年3月・4月)

※関係主体欄の「美」は、(一財)沖縄美ら島財団

年月日		
2021年 3月20日 ～4月18日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア再開
4月1日	国	第5回 首里城復元のための関係閣僚会議 幹事会
4月23日	県	「首里城火災に係る再発防止策(基本的な方向性)」を公表
5月20日	国	正殿復元工事に向けた新たな見学通路、 および仮設施設(原寸場、木材倉庫、素屋根)の整備を発表
5月25日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 木材・瓦類ワーキンググループ会議 → 沖縄県から、県産木材(オキナワウラジロガシ)候補木の選定方法や環境対策等を報告
6月1日	県	沖縄県とSCSK株式会社が「首里城復興におけるDX推進に関する連携協定」を締結
6月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
6月7日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興推進本部会議(書面開催) → 首里城復興基本計画における基本施策の推進に向けた具体的な事業・取組として、 「首里城復興基本計画推進事業(70件)」を決定
6月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
6月14日～ 7月16日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集(令和3年度1次募集)
6月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 防災ワーキンググループ会議

年月日		
6月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
7月7日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
7月14日	国 県	令和3年度 第1回 中城御殿跡地整備検討委員会
7月15日	県	令和3年度 第1回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
7月16日	国 県	令和3年度 第1回 首里杜地区整備検討委員会
7月19日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議 → 首里城復興基金（寄附金）を活用し、県が石彫刻等の制作物、木材（小径材、造作材）、赤瓦（せん瓦、雲型飾瓦）などを調達・製作することについて、国に協議を申し入れる旨を決定
7月20日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第3回会合
7月26日	国 県	令和3年度 第1回 首里城公園管理体制構築検討委員会
7月27日	国 県	令和3年度 第1回 首里城復元に向けた技術検討委員会
7月30日	国 県	「首里城正殿復元工事に用いる制作物の譲渡に関する覚書」を締結 → 7/19に申し入れた協議について合意

年月日		
8月13日	国 県	令和3年度 第1回 首里城扁額製作検討委員会
8月13日	国	首里城御庭の磚(せん)瓦の撤去作業を公開
9月15日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回 防災ワーキンググループ会議
9月22日	県	第32軍司令部壕のドローン測量調査を公開
9月29日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキの整備状況を公開
9月30日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議

※関係主体欄の「美」は、(一財)沖縄美ら島財団

年月日		
10月3日	県	首里城再興学術ネットワークシンポジウム2020開催(県立芸術大学・琉球大学との共催)
10月5日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
10月8日	県	首里杜館の大型ディスプレイ、映像コンテンツ公開
10月14日	県	令和3年度 第2回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
10月21日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第1回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
10月27日	国	首里城御庭の北殿北側見学デッキを一部供用開始
10月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 防災ワーキンググループ会議
10月30日～ 11月3日	国 県 美	令和3年度 首里城復興祭(主催:首里城祭実行委員会)
10月30日	県	令和3年度 首里城復興イベント(10月30日・31日・11月3日)
11月1日	県	琉球歴史文化の日 制定記念式典 → 沖縄の歴史・文化への理解を深め、次世代に継承し、新たな歴史と文化の創出に向けて 令和3年度より制定。

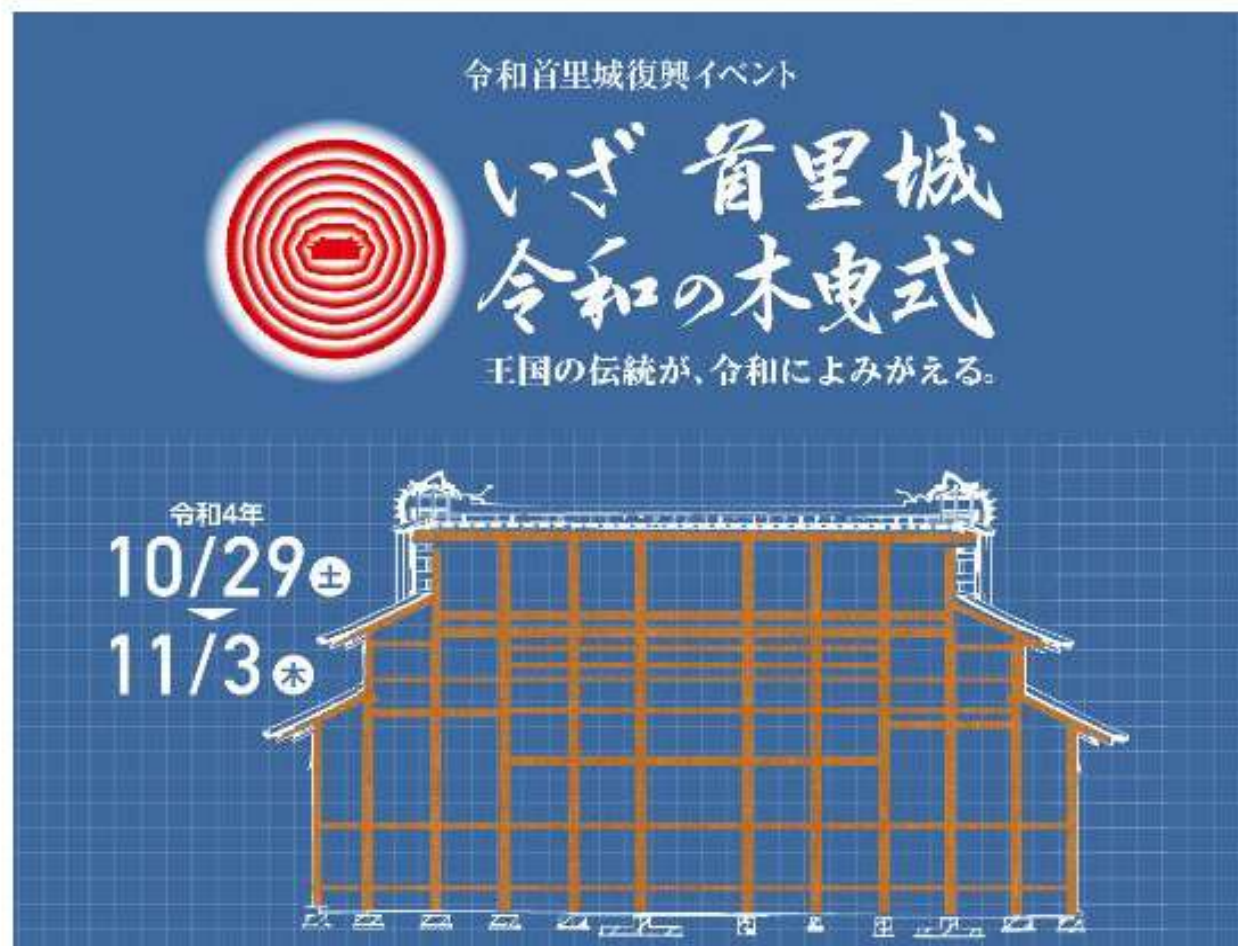
年月日		
11月2日	県	令和3年度 第2回 「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
11月3日	国 県	玉城知事が首里城の現場を視察
11月6日～ 11月14日	国 県 美	首里城赤瓦の漆喰はがしボランティア募集（最終）
11月9日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
11月10日	国 県	令和3年度 第2回 首里城公園管理体制構築検討委員会
11月16日	国 県 美	首里城復興DX共創ラボのオープン（連携協定：SCSK株式会社）
11月22日～ 1月7日	県	首里城火災破損瓦等の利活用アイデア募集（令和3年度2次募集） → 今回から瓦の種類を追加し、石材も利活用募集を開始
12月1日	国 県	令和3年度 第2回 首里城復元に向けた技術検討委員会
12月21日	国 県	令和3年度 第2回 首里城扁額製作検討委員会
12月24日	国 県	令和3年度 第2回 中城御殿跡地整備検討委員会

年月日		
12月27日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第4回会合
1月13日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 防災ワーキンググループ会議
1月19日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議
1月24日	県	令和3年度 第3回 「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議
1月28日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第4回 木材・瓦類ワーキンググループ会議
1月30日	国	首里城復元に向けた技術検討委員会 報告会
1月31日	県	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議 → ①首里城火災復旧・復興支援寄附金の受入終了(R4.3.31)、②首里城復興への新たな基金の創設、③正殿への県産木材の使用変更について決定。
1月31日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

※関係主体欄の「美」は、(一財)沖縄美ら島財団

年月日		
2月2日	県 美	第1回 令和首里城復興イベント実行委員会
2月3日	国 県	令和3年度 第2回 首里杜地区整備検討委員会
2月3日～ 3月1日	県	「首里城公園管理体制構築計画(案)」に対する県民意見等を募集
2月17日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 防災ワーキンググループ会議
2月24日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第5回 彩色・彫刻ワーキンググループ会議
2月28日	県 美	国頭村立安波小学校でのオキナワウラジロガシ苗木づくり
3月1日	国 美	正殿塗装の顔料である「久志間切弁柄」の塗装実験を公開
3月2日	国 県	首里城復元に向けた技術検討委員会 第3回 北殿・南殿等ワーキンググループ会議
3月4日	県	令和3年度 首里城復興イベント(3月4日～6日・12日・13日)
3月8日	国 県	令和3年度 第3回 首里城扁額製作検討委員会

年月日		
3月10日	国 県	令和3年度 第3回 首里杜地区整備検討委員会
3月16日	国 県	令和3年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会
3月17日	国 県	令和3年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会
3月23日	県	沖縄県議会で「沖縄県首里城歴史文化継承基金条例」が全会一致可決 → 首里城未来基金への寄附金の受入開始(令和4年4月1日～)が正式決定
3月24日	国 県	令和3年度 第3回 首里城復元に向けた技術検討委員会
3月28日	県	令和3年度 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 第5回会合
3月	県	「中城御殿整備基本計画」を改定
4月	県	「首里杜地区整備基本計画」を策定
4月	県	「首里城公園管理体制構築計画」を策定
4月1日	県	首里城未来基金(沖縄県首里城歴史文化継承基金)への寄附金受付を開始



令和4年秋の首里城正殿復元工事着工にあたり、県では琉球王国時代に首里城の造営・修復の際に実施された行事「木曳式（こびきしき）」に倣ったイベントを実施します。詳細は、沖縄県公式首里城復興サイトをご覧ください。



首里城復興サイト 🔍 検索

<https://www.shurijo-fukkou.jp/kobiki/>